

小型漁船の事故増加中！

今一度 安全の確保を！！



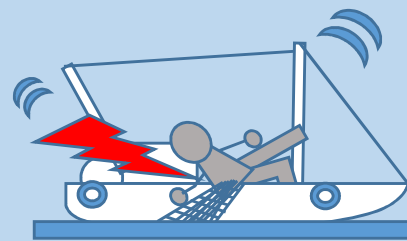
※20トン未満の漁船を「小型漁船」と区分しています。

今年発生した小型漁船の事故事例

● 船舶事故で唯一の死亡事故

刺し網漁をしていた漁船が転覆状態で見つかり、後日ライフジャケットを着用し、漂流している船長が発見されたが、死亡が確認されたもの。

調査によると、転覆した漁船のプロペラには、刺し網が絡まっていたとのこと。

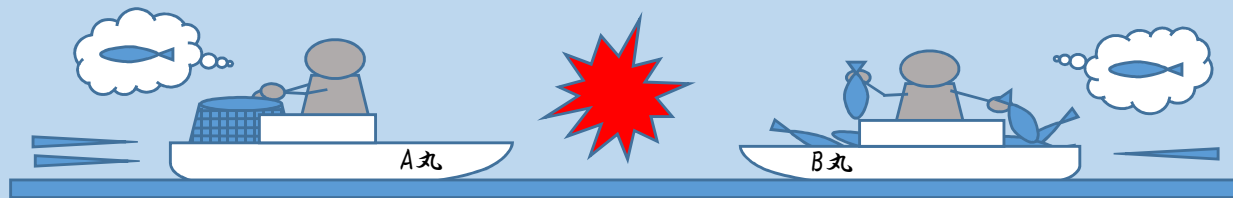


● 漁船同士の衝突 双方とも見張り不十分

(A丸) 漁場向け航行しながら、漁の準備作業をしていたため、B丸に気が付かないまま衝突。

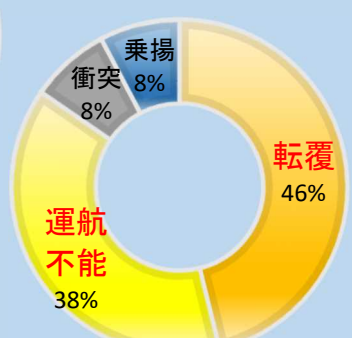
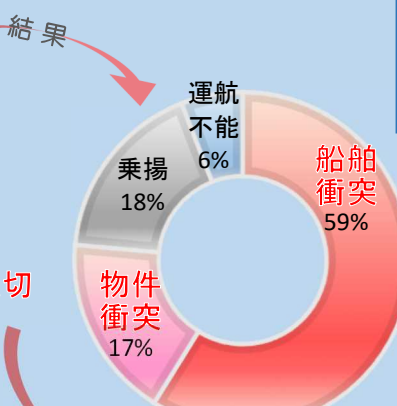
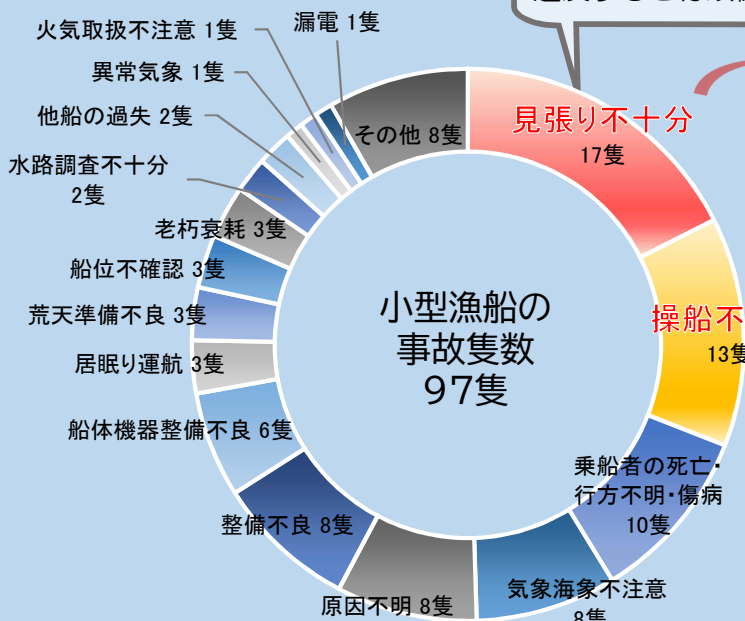
(B丸) 漁を行いながら航行中、海上に目前に迫るA丸を発見したが、回避する間も無く衝突。

▶A丸は自力航行により入港。B丸は他船によりえい航救助された。



事故の主原因

「見張りの実施」は小型船舶操縦者が守らなければならない事項です。違反すると行政機関から処分を受ける場合があります。



新潟県・富山県・石川県 過去5年(2019～2023)の累計データ (2021.1月の大雪による事故を除く)